鰐淵寺のここがすごい！

☆1400年もの長い歴史をもつ

古代には浮浪滝を中心に山林修行の場、中世には天台宗延暦寺の末寺として浮浪山鰐淵寺が成立し、中国地方における山林寺院の中核的存在として全国に知られました。

☆多数の文化財を受け継ぐ

400点を超える中世文書、根本堂や釈迦堂などの建造物、重文絹本著色毛利元就像（絵画）や重文銅造観世音菩薩立像（彫刻）など多数の貴重な文化財を今に受け継いでいます。

☆中世以来の寺院景観を良く残す

発掘調査等によって、中世期の繁栄を物語る遺構・遺物が良好に残存していることが判明しました。現状でも礎石や石垣などが見られ、中世の面影を残しています。

☆29,000点もの豊富な遺物が出土

白磁、青磁などの貿易陶磁器、瀬戸・美濃焼、備前焼などの国産陶磁器、中近世土師器、瓦、銭貨など鰐淵寺の歴史を語る遺物が多数出土しました。

▲発掘調査を行った和多坊跡

◀重文 絹本著色毛利元就像

戦国時代、毛利元就は和多坊の僧栄芸と親交があり、元就の肖像画が今も鰐淵寺に伝わっています。

和多坊跡には、僧坊の礎石が整然と並んでいます。

今後、官報告示を経て、正式に国史跡に！

◇記念速報展

「祝　鰐淵寺境内　国史跡へ！」

くわしくは、19ページをご覧ください。

◇「出雲鰐淵寺　埋蔵文化財発掘調査報告書」を販売中！

平成21～25年度に行った発掘調査成果をまとめた報告書です。

●価　格　三、〇〇〇円（税込）

●販売方法　出雲弥生の森博物館ショップで販売中

おたずね／文化財課（出雲弥生の森博物館内）☎㉑6893